

# 講義概要

SYLLABUS

令和2年度

2年前期

理学療法学科

神戸リハビリテーション福祉専門学校

---

講義名 運動学演習

---

講師 前田 剛伸

講師

楠 貴光

---

学年・期 2年前期, 2単位, 60時間 (演習)

---

講義目標 運動学で得た知識を基に演習の中で動作の運動学的特長について理解する。

---

授業計画

第1回	動作観察・分析 総論
第2回	立ち上がり動作の書き方①
第3回	立ち上がり動作の書き方②
第4回	立ち上がり動作の関節運動①
第5回	立ち上がり動作の関節運動②
第6回	立ち上がり動作観察①
第7回	立ち上がり動作観察②
第8回	歩行動作の書き方①
第9回	歩行動作の書き方②
第10回	歩行動作の書き方③
第11回	歩行動作の関節運動①
第12回	歩行動作の関節運動②
第13回	歩行動作の関節運動③
第14回	歩行動作の関節運動④
第15回	歩行動作観察①

---

履修上の注意 演習があるので、いつでも実技に対応できる服装を準備しておくこと。

---

成績評価 期末試験により判断する。単位認定者：前田

---

テキスト 「基礎運動学 第6版補訂」 (医歯薬出版)  
「筋骨格系のキネシオロジー 原著第2版」 (医歯薬出版)

参考図書 「運動器疾患の評価と理学療法」 (アイペック)  
その他 「The Center of Body—体幹機能の謎を探る—」 (アイペック)

---

---

講義名 運動学演習

---

講師 前田 剛伸

楠 貴光

---

学年・期 2年前期, 2単位, 60時間 (演習)

---

講義目標 運動学で得た知識を基に演習の中で動作の運動学的特長について理解する。

---

授業計画

第16回	歩行動作観察②
第17回	歩行動作観察③
第18回	歩行動作観察④
第19回	起き上がり動作の書き方①
第20回	起き上がり動作の書き方②
第21回	起き上がり動作の書き方③
第22回	起き上がり動作の関節運動①
第23回	起き上がり動作の関節運動②
第24回	起き上がり動作の関節運動③
第25回	起き上がり動作観察①
第26回	起き上がり動作観察②
第27回	起き上がり動作観察③
第28回	各動作のレポート作成①
第29回	各動作のレポート作成②
第30回	発表

---

履修上の注意 演習があるので、いつでも実技に対応できる服装を準備しておくこと。

---

成績評価 期末試験により判断する。単位認定者：前田

---

テキスト 「基礎運動学 第6版補訂」 (医歯薬出版)  
「筋骨格系のキネシオロジー 原著第2版」 (医歯薬出版)

---

参考図書 「運動器疾患の評価と理学療法」 (アイペック)  
その他 「The Center of Body—体幹機能の謎を探る—」 (アイペック)

---

講義名	内科学Ⅱ	C-4*	D-12*
			D-13*

講師 主田 英之

学年・期 2年前期，1単位，30時間（講義）

講義目標 理学療法に必要な内科的疾患の概要、病態、診断、治療について理解する。各論では、呼吸循環系、血液・造血系、消化器系、内分泌・代謝系、泌尿器系、免疫系の各種疾患の病態について理解する。

授業計画	第1回	消化器疾患①
	第2回	消化器疾患②
	第3回	肝胆膵疾患①
	第4回	肝胆膵疾患②
	第5回	血液・造血器疾患①
	第6回	血液・造血器疾患②
	第7回	代謝・栄養疾患①
	第8回	代謝・栄養疾患②
	第9回	内分泌疾患
	第10回	腎・泌尿器疾患①
	第11回	腎・泌尿器疾患②
	第12回	膠原病・アレルギー疾患①
	第13回	膠原病・アレルギー疾患②
	第14回	感染症疾患
	第15回	環境要因による疾患（中毒・物理化学的環境に起因する疾患）

履修上の注意

成績評価 期末試験により判断する。単位認定者：主田

テキスト 「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第3版」（医学書院）

参考図書  
その他

---

講義名	臨床検査・薬理学	C-5** D-2**
-----	----------	----------------

---

講師	岩井 重寿 吉野 伸
----	---------------

---

学年・期	2年前期, 1単位, 30時間 (講義)
------	----------------------

---

講義目標	臨床検査データの読み方、および薬物療法の基礎知識について理解する。
------	-----------------------------------

---

授業計画	第1回	臨床検査・・・	臨床検査総論 (臨床検査とは)	(岩井)
	第2回		一般検査	(岩井)
	第3回		血液検査	(岩井)
	第4回		生化学検査	(岩井)
	第5回		免疫血清学検査	(岩井)
	第6回		微生物検査	(岩井)
	第7回		生理学的検査	(岩井)
	第8回		病理学的検査	(岩井)
	第9回	薬理学・・・	総論	(吉野)
	第10回		薬の体内動態	(吉野)
	第11回		薬物作用の仕組み	(吉野)
	第12回		薬効に及ぼす要因	(吉野)
	第13回		薬物相互作用	(吉野)
	第14回		副作用、中毒	(吉野)
	第15回		サプリメント	(吉野)

---

#### 履修上の注意

---

成績評価	期末試験により判断する。単位認定者：岩井
------	----------------------

---

テキスト	「系統看護学講座別巻臨床検査」 (医学書院) 「系統看護学講座専門基礎分野薬理学疾病のなりたちと回復の促進③」 (医学書院)
------	---

---

参考図書 その他	
-------------	--

---

講義名	整形外科学Ⅱ	D-2 <sup>※</sup>	D-8 <sup>※</sup>	D-14 <sup>※</sup>
		D-7 <sup>※</sup>	D-10 <sup>※</sup>	D-15 <sup>※</sup>

講師 前田 章

学年・期 2年前期，1単位，30時間（講義）

講義目標 整形外科の基礎科学を理解し、続いて最新の治療について理解する。

授業計画	第1回	整形外科疾患各論・・・	肩・肘関節疾患
	第2回	整形外科疾患各論・・・	手関節及び手指疾患
	第3回	整形外科疾患各論・・・	頸椎疾患
	第4回	整形外科疾患各論・・・	胸郭及び胸椎疾患
	第5回	整形外科疾患各論・・・	腰椎疾患
	第6回	整形外科疾患各論・・・	股関節疾患
	第7回	整形外科疾患各論・・・	膝関節疾患
	第8回	整形外科疾患各論・・・	足関節と足趾疾患
	第9回	外傷総論・・・	捻挫・骨折・脱臼
	第10回	外傷総論・・・	骨折・脱臼（上肢）
	第11回	外傷総論・・・	骨折・脱臼（下肢）
	第12回	外傷総論・・・	脊椎・脊髄損傷
	第13回	外傷総論・・・	末梢神経障害
	第14回	まとめ1	
	第15回	まとめ2	

履修上の注意

成績評価 期末試験により判断する。単位認定者：前田

テキスト 「標準整形外科学 第13版」（医学書院）

参考図書  
その他

講義名	神経内科学Ⅱ	D-9*	D-15*
		D-10*	

講師 山本 吉則

学年・期 2年前期，1単位，30時間（講義）

講義目標 神経内科領域の疾患全般について理解する。2年前期は、脳血管障害、認知症、変性疾患、脱髄疾患、末梢神経障害、筋疾患、感染性疾患について理解する。

授業計画	第1回	脳血管障害①
	第2回	脳血管障害②
	第3回	脳血管障害③
	第4回	脳腫瘍、頭部外傷
	第5回	変性疾患①
	第6回	変性疾患②
	第7回	変性疾患③
	第8回	脱髄性疾患
	第9回	末梢神経障害
	第10回	筋疾患（ミオパチー）
	第11回	脊髄疾患
	第12回	感染性疾患、中毒性疾患
	第13回	先天異常、脳性麻痺
	第14回	不随運動
	第15回	認知症疾患、てんかん

履修上の注意

成績評価 期末試験により判断する。単位認定者：山本

テキスト 「リハビリテーションのための神経内科学 第2版」（医歯薬出版）

参考図書  
その他

講義名 小児科学

D-11\*

講師 石丸 庸介

講師

高野 美由紀

学年・期 2年前期, 1単位, 30時間 (講義)

講義目標 理学療法に関わる小児科疾患について理解する。

授業計画	第1回	小児学総論	(石丸)
	第2回	血液・造血器疾患と小児がん	(石丸)
	第3回	ヒトの免疫と免疫不全症	(石丸)
	第4回	遺伝子異常	(高野)
	第5回	染色体異常	(高野)
	第6回	周産期の異常	(高野)
	第7回	知的障害・てんかん	(高野)
	第8回	脳性麻痺等、神経疾患	(高野)
	第9回	循環器・呼吸器疾患	(高野)
	第10回	発達障害総論	(高野)
	第11回	自閉スペクトラム症	(高野)
	第12回	ADHD	(高野)
	第13回	リウマチ性疾患と類縁疾患、アレルギー性疾患	(石丸)
	第14回	感染症	(石丸)
	第15回	地域医療	(石丸)

履修上の注意

成績評価 期末試験により判断する。単位認定者：石丸

テキスト 「小児科学テキスト」 (南江堂)

参考図書  
その他



---

講義名	理学療法評価演習 I	E-4 <sup>※</sup>
-----	------------	------------------

---

講師	嘉戸 直樹
----	-------

	日良 葉子
--	-------

---

学年・期	2年前期, 1単位, 30時間 (講義)
------	----------------------

---

講義目標	理学療法実施計画を客観的で妥当なものにするために、感覚検査と反射検査の目的を理解し、基本的な検査・測定を通じて知識・技能を修得する。
------	--

---

授業計画	第1回	感覚検査総論	(日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第2回	具体的な感覚検査方法	(日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第3回	表在感覚①	(日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第4回	表在感覚②	(日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第5回	深部感覚	(日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第6回	複合感覚	(日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第7回	障害別感覚検査・・・	末梢神経障害 (日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第8回	障害別感覚検査・・・	脊髄レベルでの障害 (日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第9回	障害別感覚検査・・・	脳血管障害 (日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第10回	感覚検査まとめ	(日良)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第11回	反射検査総論	(嘉戸)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第12回	深部反射①	(嘉戸)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第13回	深部反射②	(嘉戸)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第14回	表在反射・病的反射	(嘉戸)	E-4-1 <sup>※</sup>
	第15回	反射検査の意義・反射所見の記録法	(嘉戸)	E-4-1 <sup>※</sup>

---

履修上の注意	実技の際は身体部位を露出しやすい服装で受講すること。
--------	----------------------------

---

成績評価	期末試験により判断する。単位認定者：日良
------	----------------------

---

テキスト	「臨床理学療法評価法 第2版」 (アイペック) 「ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版」 (南山堂)
------	--

---

参考図書 その他	
-------------	--

---

講師 藤原 聡

学年・期 2年前期，2単位，30時間（講義）

講義目標 徒手筋力検査の原理と方法を理解する。また、正しい検査の実施と判定ができるように、反復して実技を行う。

授業計画	第1回	徒手筋力検査	総論
	第2回	抵抗と代償運動	
	第3回	徒手筋力検査	下肢筋のテスト（股関節）
	第4回	徒手筋力検査	下肢筋のテスト（膝関節・足関節・足）
	第5回	徒手筋力検査	下肢筋のテスト（足趾）
	第6回	徒手筋力検査	下肢筋のテスト（総まとめ）
	第7回	徒手筋力検査	上肢筋のテスト（肩甲帯）
	第8回	徒手筋力検査	上肢筋のテスト（肩関節）
	第9回	徒手筋力検査	上肢筋のテスト（肘関節・前腕・手関節）
	第10回	徒手筋力検査	上肢筋のテスト（手指）
	第11回	徒手筋力検査	上肢筋のテスト（総まとめ）
	第12回	徒手筋力検査	頸筋のテスト
	第13回	徒手筋力検査	体幹筋のテスト
	第14回	徒手筋力検査	頸筋・体幹筋のテスト（総まとめ）
	第15回	試験対策	

履修上の注意 筋の視診、触診が出来るように、短パン、Tシャツ等を用意してください。

成績評価 期末試験により判断する。単位認定者：藤原

テキスト 「新・徒手筋力検査法 原著第10版Web動画付」（協同医書出版社）

参考図書 配付資料  
その他

講義名	物理療法学	E-5** E-6**
講師	高橋 優基	
学年・期	2年前期, 1単位, 30時間 (講義)	
講義目標	運動療法とともに理学療法において、2大治療手段である物理療法の基礎知識並びに機器の使用方法を学び、臨床で実践できる技術を身につけることとする。	
授業計画	<p>第1回 物理療法の総論、リスク管理 E-5-1**</p> <p>第2回 温熱療法の基礎知識、適応・禁忌 E-5-2**</p> <p>第3回 温熱療法の実施方法、演習 E-6-6**</p> <p>第4回 寒冷療法の基礎知識、適応・禁忌 E-5-2**</p> <p>第5回 寒冷療法の実施方法、演習 E-6-6**</p> <p>第6回 超音波療法の基礎知識、適応・禁忌 E-5-2**</p> <p>第7回 超音波療法の実施方法、演習 E-5-2**</p> <p>第8回 電気療法の基礎知識、適応・禁忌 E-5-2**</p> <p>第9回 電気療法の実施方法、演習 E-6-7**</p> <p>第10回 電磁波療法・光線療法の基礎知識、適応・禁忌 E-5-2**</p> <p>第11回 電磁波療法・光線療法の実施方法、演習 E-6-7**</p> <p>第12回 牽引療法の基礎知識、適応・禁忌 E-5-2**</p> <p>第13回 牽引療法の実施方法、演習 E-5-2**</p> <p>第14回 水治療法の基礎知識、適応・禁忌 E-5-2**</p> <p>第15回 水治療法の実施方法、演習 E-5-2**</p>	
履修上の注意	机上で基礎知識を学習し、その知識を踏まえ、演習を行う。 また、必要に応じて課題を課す。	
成績評価	期末試験により判断する。単位認定者：高橋	
テキスト	「エビデンスから身につける物理療法 第1版」 (羊土社)	
参考図書 その他	「物理療法マニュアル」 (医歯薬出版) 「物理療法学 改訂第2版」 (金原出版)	

講義名	脳血管障害理学療法学	E-5 <sup>*</sup> E-6 <sup>*</sup>																																													
講師	後藤 淳 大沼 俊博																																														
学年・期	2年前期, 2単位, 60時間 (講義)																																														
講義目標	脳血管障害の評価と理学療法について理解する。																																														
授業計画	<table border="0"> <tr><td>第1回</td><td>総論</td><td>(大沼)</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>筋緊張検査</td><td>(後藤)</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>感覚障害</td><td>(後藤)</td></tr> <tr><td>第4回</td><td>総論</td><td>(大沼)</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>筋緊張検査</td><td>(後藤)</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>感覚障害</td><td>(後藤)</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>運動障害</td><td>(大沼)</td></tr> <tr><td>第8回</td><td>運動障害</td><td>(大沼)</td></tr> <tr><td>第9回</td><td>感覚検査</td><td>(後藤)</td></tr> <tr><td>第10回</td><td>筋緊張検査</td><td>(後藤)</td></tr> <tr><td>第11回</td><td>運動障害</td><td>(大沼)</td></tr> <tr><td>第12回</td><td>感覚検査</td><td>(後藤)</td></tr> <tr><td>第13回</td><td>高次脳機能障害</td><td>(後藤)</td></tr> <tr><td>第14回</td><td>運動障害</td><td>(大沼)</td></tr> <tr><td>第15回</td><td>筋緊張検査</td><td>(後藤)</td></tr> </table>	第1回	総論	(大沼)	第2回	筋緊張検査	(後藤)	第3回	感覚障害	(後藤)	第4回	総論	(大沼)	第5回	筋緊張検査	(後藤)	第6回	感覚障害	(後藤)	第7回	運動障害	(大沼)	第8回	運動障害	(大沼)	第9回	感覚検査	(後藤)	第10回	筋緊張検査	(後藤)	第11回	運動障害	(大沼)	第12回	感覚検査	(後藤)	第13回	高次脳機能障害	(後藤)	第14回	運動障害	(大沼)	第15回	筋緊張検査	(後藤)	
第1回	総論	(大沼)																																													
第2回	筋緊張検査	(後藤)																																													
第3回	感覚障害	(後藤)																																													
第4回	総論	(大沼)																																													
第5回	筋緊張検査	(後藤)																																													
第6回	感覚障害	(後藤)																																													
第7回	運動障害	(大沼)																																													
第8回	運動障害	(大沼)																																													
第9回	感覚検査	(後藤)																																													
第10回	筋緊張検査	(後藤)																																													
第11回	運動障害	(大沼)																																													
第12回	感覚検査	(後藤)																																													
第13回	高次脳機能障害	(後藤)																																													
第14回	運動障害	(大沼)																																													
第15回	筋緊張検査	(後藤)																																													
履修上の注意																																															
成績評価	期末試験により評価する。単位認定者：大沼																																														
テキスト	「脳血管障害片麻痺に対する理学療法評価 改訂第2版」 (神陵文庫) 「神経疾患の評価と理学療法」 (アイペック)																																														
参考図書 その他	「臨床理学療法評価法」 (アイペック) 「機能障害科学入門」 (神陵文庫)																																														

講義名	脳血管障害理学療法学	E-5** E-6**
講師	後藤 淳 大沼 俊博	
学年・期	2年前期, 2単位, 60時間 (講義)	
講義目標	脳血管障害の評価と理学療法について理解する。	
授業計画	第16回 高次脳機能障害 第17回 意識障害 第18回 筋緊張検査 第19回 高次脳機能障害 第20回 意識障害 第21回 筋緊張検査 第22回 高次脳機能障害 第23回 合併症・機能予後 第24回 反射検査 第25回 合併症・機能予後 第26回 随意運動能力検査 第27回 随意運動能力検査 第28回 非麻痺側機能検査 第29回 非麻痺側機能検査・まとめ 第30回 まとめ	(後藤) (大沼) (後藤) (後藤) (大沼) (後藤) (後藤) (大沼) (後藤) (大沼) (大沼) (大沼) (大沼) (大沼) (大沼) (大沼)
履修上の注意		
成績評価	期末試験により評価する。単位認定者：大沼	
テキスト	「脳血管障害片麻痺に対する理学療法評価 改訂第2版」(神陵文庫) 「神経疾患の評価と理学療法」(アイペック)	
参考図書 その他	「臨床理学療法評価法」(アイペック) 「機能障害科学入門」(神陵文庫)	

---

講義名 神経筋疾患理学療法学

E-5\*

E-6\*

---

講師 後藤 淳

---

学年・期 2年前期, 2単位, 60時間 (講義)

---

講義目標 神経筋疾患の評価と理学療法について理解する。

---

授業計画

第1回	神経疾患総論
第2回	神経疾患に対する評価
第3回	脳疾患 (1)
第4回	神経疾患に対する評価 (模倣 (1))
第5回	脳疾患 (2)
第6回	神経疾患に対する評価 (模倣 (2))
第7回	中枢神経感染症 (1)
第8回	環境設定とポジショニング
第9回	中枢神経感染症 (2)
第10回	環境設定とトランスファー
第11回	脱髄疾患
第12回	リハビリテーションに求められる動作・操作
第13回	変性疾患 (1)
第14回	治療と目的・治療に対するマネジメント
第15回	変性疾患 (2)

---

履修上の注意

---

成績評価 課題テスト並びに期末試験により判断する。単位認定者：後藤

---

テキスト 「神経疾患の評価と理学療法」 (アイベック)

---

参考図書  
その他

---

---

講義名 神経筋疾患理学療法学

E-5\*

E-6\*

---

講師 後藤 淳

---

学年・期 2年前期, 2単位, 60時間 (講義)

---

講義目標 神経筋疾患の評価と理学療法について理解する。

---

授業計画

第16回	タッチの方法 (実技)
第17回	脊椎疾患
第18回	体験学習 (ベッド上臥位からの動作)
第19回	脊椎疾患
第20回	体験学習 (ベッド上臥位からの動作)
第21回	末梢神経疾患 (1)
第22回	体験学習 (坐位からの動作)
第23回	末梢神経疾患 (2)
第24回	体験学習 (坐位からの動作)
第25回	ミオパチー (1)
第26回	体験学習 (立位における動作)
第27回	ミオパチー (2)
第28回	体験学習 (異常から正常動作を理解)
第29回	物理療法・装具療法・在宅における運動療法
第30回	まとめ

---

履修上の注意

---

成績評価 課題テスト並びに期末試験により判断する。単位認定者：後藤

---

テキスト 「神経疾患の評価と理学療法」 (アイベック)

---

参考図書  
その他

---

講義名	骨関節疾患理学療法学	E-5** E-6**
-----	------------	----------------

高橋 優基

講師

楠 貴光

学年・期 2年前期, 2単位, 60時間 (講義)

講義目標

- ・理学療法の対象となる代表的骨関節疾患の発生機転と病態を理解する
- ・骨関節疾患についての理解を理学療法士の視点から深める
- ・骨関節疾患に対する理学療法の原則を理解する

授業計画	第1回	骨関節疾患に対する理学療法の考え方	(高橋)	E-5-6**
	第2回	骨関節疾患に対する理学療法の考え方	(高橋)	E-6-1**
	第3回	骨関節疾患の発生に関連する力学的負荷	(高橋)	E-5-6**
	第4回	骨関節疾患の発生に関連する力学的負荷	(高橋)	E-6-6**
	第5回	創傷の治癒過程	(高橋)	E-6-1**
	第6回	創傷の治癒過程	(高橋)	E-6-1**
	第7回	肩関節疾患に対する評価と理学療法①	(楠)	E-6-1**
	第8回	肩関節疾患に対する評価と理学療法②	(楠)	E-6-1**
	第9回	肩関節疾患に対する評価と理学療法③	(楠)	E-6-1**
	第10回	肩関節疾患に対する評価と理学療法④	(楠)	E-6-1**
	第11回	肘関節疾患に対する評価と理学療法①	(楠)	E-6-1**
	第12回	肘関節疾患に対する評価と理学療法②	(楠)	E-6-1**
	第13回	肘関節疾患に対する評価と理学療法③	(楠)	E-6-1**
	第14回	手関節疾患に対する評価と理学療法①	(楠)	E-6-1**
	第15回	手関節疾患に対する評価と理学療法②	(楠)	E-6-1**

履修上の注意 実技を行うことがあるため、実技に対応できる服装を準備しておくこと。

成績評価 期末試験により判断する。単位認定者：高橋

テキスト 「運動器疾患の評価と理学療法 第2版」 (アイベック)  
「ネッター解剖学アトラス 原著第6版」 (南江堂)

参考図書  
その他



講義名	骨関節疾患理学療法学			E-5** E-6**
講師	高橋 優基 楠 貴光			
学年・期	2年前期. 2単位. 60時間 (講義)			
講義目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法の対象となる代表的骨関節疾患の発生機転と病態を理解する</li> <li>・骨関節疾患についての理解を理学療法士の視点から深める</li> <li>・骨関節疾患に対する理学療法の原則を理解する</li> </ul>			
授業計画	第16回	手関節疾患に対する評価と理学療法③	(楠)	E-6-1**
	第17回	股関節疾患に対する評価と理学療法①	(高橋)	E-6-1**
	第18回	股関節疾患に対する評価と理学療法②	(高橋)	E-6-1**
	第19回	股関節疾患に対する評価と理学療法③	(高橋)	E-6-1**
	第20回	膝関節疾患に対する評価と理学療法①	(高橋)	E-6-1**
	第21回	膝関節疾患に対する評価と理学療法②	(高橋)	E-6-1**
	第22回	足関節疾患に対する評価と理学療法①	(高橋)	E-6-1**
	第23回	足関節疾患に対する評価と理学療法②	(高橋)	E-6-1**
	第24回	足関節疾患に対する評価と理学療法③	(高橋)	E-6-1**
	第25回	頭頸部疾患に対する評価と理学療法①	(高橋)	E-6-1**
	第26回	頭頸部疾患に対する評価と理学療法②	(高橋)	E-6-1**
	第27回	頭頸部疾患に対する評価と理学療法③	(高橋)	E-6-1**
	第28回	腰部疾患に対する評価と理学療法①	(高橋)	E-6-1**
	第29回	腰部疾患に対する評価と理学療法②	(高橋)	E-6-1**
	第30回	腰部疾患に対する評価と理学療法③	(高橋)	E-6-1**
履修上の注意	実技を行うことがあるため、実技に対応できる服装を準備しておくこと。			
成績評価	期末試験により判断する。単位認定者：高橋			
テキスト	「運動器疾患の評価と理学療法 第2版」 (アイベック) 「ネッター解剖学アトラス 原著第6版」 (南江堂)			
参考図書 その他				

講義名	内部障害理学療法学	E-5** E-6**
講師	藤原 聡 嘉戸 直樹	
学年・期	2年前期. 1単位. 30時間 (講義)	
講義目標	内部障害 (呼吸器疾患、循環器疾患、腎機能疾患、糖尿病など) に対する理学療法の意味、目的を理解し、リスク管理とQOLを含めた理学療法が施行できることを目的とする。	
授業計画	第1回 総論、糖尿病の病態・検査と治療 (藤原) 第2回 糖尿病の合併症と治療 (藤原) 第3回 糖尿病に対する理学療法 (藤原) 第4回 患者教育 (藤原) 第5回 虚血性心疾患の病態・検査と治療 (藤原) 第6回 心臓弁膜症と大動脈疾患の病態・検査と治療 (藤原) 第7回 慢性心不全の病態・検査と治療 (藤原) 第8回 心臓リハビリテーション (藤原) 第9回 心電図の診かた I (嘉戸) 第10回 心電図の診かた II (嘉戸) 第11回 呼吸器系の解剖・運動 (藤原) 第12回 呼吸器系の生理 (藤原) 第13回 呼吸不全の病態と呼吸器疾患 (藤原) 第14回 呼吸理学療法のための評価 (藤原) 第15回 呼吸理学療法と酸素療法、人工呼吸療法 (藤原)	
履修上の注意	講義内容が実技の際は、運動可能な服装で受講すること (事前に連絡する) 講義内容により講義教室が変更する可能性があるため、必ず担当教員に確認すること	
成績評価	期末試験により判断する。単位認定者：藤原	
テキスト	「15レクチャーシリーズ理学療法テキスト内部障害理学療法学 (循環・代謝) 第2版」 「15レクチャーシリーズ理学療法テキスト内部障害理学療法学 (呼吸) 第2版」 (中山書店)	
参考図書 その他	配布する講義プリント 「内部障害理学療法学テキスト」 (南江堂) 「内部障害系理学療法学」 (メジカルビュー社)	

講義名	日常生活活動学	E-5** E-6**
講師	前田 剛伸	
学年・期	2年前期, 1単位, 30時間 (講義)	
講義目標	日常生活活動の概念と範囲について学習し、またその評価を理解する。さらに、基本動作の介助方法やリハビリテーション支援機器について理解する。	
授業計画	第1回 日常生活活動の概念と範囲 第2回 生活関連活動 第3回 国際生活機能分類① 第4回 国際生活機能分類② 第5回 日常生活活動の評価① 第6回 日常生活活動の評価② 第7回 自助具 第8回 支援機器と生活環境① 第9回 支援機器と生活環境② 第10回 支援機器と生活環境③ 第11回 コミュニケーション 第12回 障害別日常生活活動の実際① 第13回 障害別日常生活活動の実際② 第14回 障害別日常生活活動の実際③ 第15回 障害別日常生活活動の実際④	E-5-3** E-5-3** E-5-3** E-5-3** E-5-3** E-5-3** E-5-4** E-5-4** E-5-4** E-5-4** E-5-4** E-5-4** E-6-11** E-6-11** E-5-3**, E-5-4**
履修上の注意		
成績評価	期末試験により判断する。単位認定者：前田	
テキスト	「新版 日常生活活動 (ADL) 第2版—評価と支援の実際—」 (医歯薬出版)	
参考図書 その他	配布資料	